

2023
03
spring
VOL.32

大崎市民病院広報誌

TAKE FREE

ご自由にお取りください

つながり

大崎・栗原医療圏唯一の
「地域がん診療連携拠点病院」
がんセンター



緩和ケアチームの皆さん

大崎・栗原医療圏唯一の 「地域がん診療連携拠点病院」——がんセンター

当院のがんセンターは、「がんになっても安心して暮らせる社会の実現」を目指し、患者さんに寄り添って、専門スタッフが連携して治療にあたっています。今回は、化学療法センター、認定看護師・専門薬剤師、がん相談支援センターの取り組みをご紹介します。

我 が国におけるがんの疾患数や死亡数は増加し、昭和56年から41年連続で死因のトップになっています。こわい病気のひとつではありますが、治療法や新薬の進歩はめざましく、がん診療を取り巻く環境は大きく変化しています。以前は各科で個別に行われていたがん治療は、治療の多様化に伴い、高度な専門性と同時に、診療科の垣根を超えた総合的な診療体制が求められています。さらに、緩和ケア、がん相

談、就労支援など、医師・看護師・薬剤師・社会福祉士（医療ソーシャルワーカー）などの多職種によるチーム医療を必要としています。

泌尿器、乳腺などの領域で、県内でもトップクラスのがん医療を行ってきました。地域がん診療連携拠点病院とは、専門的ながん医療の提供、がん治療の連携体制の構築、がん患者さんとご家族への相談支援・情報提供などの整備がなされている病院のことですが、令和2年4月、これまでのがん医療への取り組みが評価され、全国55カ所の医療機関のみ（令和4年4月1日現在）である「地域がん診療連携拠点病院（高度

当院のがんセンターは、横断的な対応ができるよう、がん診療を統括する目的で設置され、がん患者さんを身体的、精神的、社会的にサポートする体制を整えています。また、当院は大崎・栗原医療圏唯一の「地域がん診療連携拠点病院」として、消化器、肺、血液、泌

尿器、乳腺などの領域で、県内でもトップクラスのがん医療を行ってきました。地域がん診療連携拠点病院とは、専門的ながん医療の提供、がん治療の連携体制の構築、がん患者さんとご家族への相談支援・情報提供などの整備がなされている病院のことですが、令和2年4月、これまでのがん医療への取り組みが評価され、全国55カ所の医療機関のみ（令和4年4月1日現在）である「地域がん診療連携拠点病院（高度



安齋 実(あんさい・まこと) 消化器外科 がんセンター部長

型」の指定を受けることができました。今後も地域の皆さんとともに、「がんになっても安心して暮らせる社会の実現」を目指し、より質の高いがん医療を行ってまいります。万が一、検診やかかりつけ医でご自身や家族の方が、がん（の疑い）といわれたら、当院の紹介受診をご検討ください。十分な準備を整えてお待ちしております。

当院のがん治療の流れ

かかりつけ医を受診

かかりつけ医から当院へ紹介

診察・検査

手術



多様な術式でがんを取り除きます。令和5年1月からはロボット支援手術もはじまりました。

緩和ケア



緩和ケアとは、がん治療と共に行う大切な治療のひとつで、体のつらさや気持ちのつらさ、生活上のつらさを抱えた患者さんとご家族を支えていく医療のことをいいます。当院には、多職種で構成する緩和ケアチームがあり、毎年160件ほどの新規依頼を受けて活動しています。

内視鏡的治療



早期のがんを切除したり、がんによって起こる症状を和らげたりするためにを行います。口や肛門、尿道から内視鏡を挿入して治療します。手術に比べて痛みが少なく、回復が早いので体への負担が少なく済みます。

放射線療法



治療用直線加速器（リニアック）と呼ばれる治療装置を使い、体の外から放射線を当て、がん細胞を死滅させます。照射中に痛みは無く、通院で治療を受けることが出来ます。

化学療法



当院は、患者さんが日常生活を維持しながら、生活の質を損なうことなく治療を受けられ、有意義に過ごすことができることを目的とした化学療法センターを有しています。確実・安全・安楽な化学療法を提供します。

がんの種類や進行度によっては、それぞれ単独の治療法では十分な効果を得られない場合があるため、より高い治療効果を目指して、これらの治療法を組み合わせる治療することもあります。

退院

化学療法センター

化

学療法とは、抗がん剤を使った治療のことです。

当院の化学療法センターでは、外来通院での抗がん剤点滴や、一部の自己免疫疾患治療薬の注射に対応しています。当センターは、宮城県内では東北大学病院、県立がんセンターに次ぐ化学療法件数を誇り、最新のがん診療ガイドラインに則った、あらゆるがんの標準化学療法が可能です。また、当センターは、テレビ付きでカー



坂本 康寛
(さかもと・やすひろ)
腫瘍内科

テンで仕切られたベッド17床、リクライニングチェア6床の計23床で運営しており、がん治療の分野において高度な知識や技能を持つ認定看護師や専門薬剤師などが、がん患者さんやご家族をサポートする体制を整えていますので、安心・安全・安楽に治療を受けられます。

昨今の抗がん剤の進歩により、生存期間が延びたこと、適応となるがんの種類が増えたことから、当センターの化学療法件数は10年で約2倍に増えています。引き続き地域の皆さんに適切ながん治療を届けていきますので、よろしくお願ひします。

がん相談支援センター

が

ん相談支援センターとは、全国の「がん診療連携拠点病院」に設置されている、「がんに関する相談の窓口です。がん専門相談員として研修を受けた看護師や社会福祉士（医療ソーシャルワーカー）などが、患者さんやご家族のがんの治療や療養生活全般に関する疑問や不安などについて、一緒に考え、情報を探すお手

伝いをします。

当院に通院してなくても、がんに関する相談はどなたでもできます。相談は無料です。相談内容が、ご本人の了承なしに、主治医をはじめ他の方に伝わることはありませんので、疑問や不安を感じたときは、一人で悩まず安心して気軽にご利用ください。

がん相談支援センターにご相談できることの例

- がんと言われて頭の中が真っ白…これからどうすればいい？
- 自分のがんについて、もっと詳しい情報を入手したい
- 医療費がどれくらいかかるのか心配
- 活用できる制度やサービスはないか
- 手術のため仕事を休んでいたが、復職に際して今まで通り働くことができるか心配
- 薬物療法の副作用があるが、経済面でも仕事を続けたい、治療と仕事の両立に悩んでいる
- 職場に病気のことをどのように伝えたら良いかわからない。
- 医療者にうまく気持ちを伝えられない
- セカンドオピニオンを受けるにはどうしたらよいか
- 他の患者さんと話をしてみたい
- 家族としての悩みを相談したい
- 家で過ごしたいが何を準備すれば良いかわからない
- 病気のことや療養生活に役立つ情報が欲しい



専門薬剤師より

薬

剤師のもつ高度な知識や技能が、がん治療の分野において必要とされ、患者さんやその家族のサポート、地域におけるがん治療のさらなる向上に貢献することが期待されています。当院にはそのような専門的な知識を備えた「外来がん治療専門薬剤師」「がん薬物療法認定薬剤師」が薬剤師外来を行っており、化学療法による副作用のチェックや、副作用に対する薬の提案、調剤薬局への情報提供などを通してがん患者さんのサポートをしています。また、認定取得を目指す他施設の薬剤師の受け入れや、地域の薬局と連携し定期的に勉強会を開催することで、地域がん治療の質の向上に取り組んでいます。



佐竹 克心
(さたけ・かつみ)
薬剤部

認定看護師より

安

心・安全にがん薬物療法が受けられるよう、がん化学療法看護認定看護師は、患者さんとそのご家族を支援する役割があります。抗がん剤を安全に取り扱い、適切に投与を行うこと、そして、副作用症状による苦痛が最小限になるよう関わっています。治療を続ける中で、治療のつらさや副作用のこと、仕事や家族、家事のことなど、さまざまな不安や困りごとを抱えることもあるかもしれません。私たちは、患者さんやそのご家族が、これまでの生活をできるだけ維持しながら治療が継続出来るようサポートしていきますので、いつでもお声がけください。



森屋 智美
(もりや・ともみ)
看護部

専門・認定看護師による

がん相談会

当院がんサロンにおいて、がん関連の専門・認定看護師によるがん相談会を実施しています。

当院がかりつけでなくても、がんに関する疑問や不安があれば、患者さん、ご家族、どなたでもご利用頂けます。

開催日 毎週月曜日
※第五月曜日・祝日を除く

時間 10:00 ~ 12:30

申込
不要

1回
20~30分

相談料
無料

当日直接がんサロンに来室し、「がん相談会に来ました」とお声がけください。不明な点は、がんサロンまでお尋ねください。

がん相談支援センター



【本館 2階】



がんサロン

交流会や勉強会も開催しております。本や冊子も充実!!

令和4年より 出前講座を 開始しました!! 私たちに ご相談ください。



▲認定看護師の皆さん

当院では令和4年より専門看護師や認定看護師、糖尿病療養指導士などによる出前講座を開始しました。当院ではさまざまな専門分野を学んだスタッフがいます。医療機関だけでなく、企業などの地域や教育機関などでも実施が可能です。依頼や問い合わせなど、詳細は当院ホームページをご確認ください。皆様のご依頼を心よりお待ちしております！



くわしくは… **大崎市民病院 看護部** **検索**

今号の表紙



平井 広志
(ひらい・ひろし)
地域医療連携室 相談支援係
緩和ケアチーム
社会福祉士

緩和ケアとは、体のつらさ(身体的苦痛)や気持ちのつらさ(精神的苦痛)、生活上のつらさ(社会的苦痛)を抱えた患者さんご家族を支えていく医療のことをいいます。がんや診断されたときから受けることができます。緩和ケアはがん治療とともに行う大切な治療のひとつです。

当院には緩和ケアチームがあり、様々なつらさに対して、医師・看護師・薬剤師・臨床心理士・社会福祉士(医療ソーシャルワーカー)がそれぞれの専門性を生かし、チームで対応しております。緩和ケアチームへの相談を希望される方は、まずは主治医もしくは看護師までお声がけください。社会福祉士(医療ソーシャルワーカー)

カー)は、経済的な問題、仕事や社会復帰についての悩み、家族との関係の問題や療養生活への不安、遺産や相続についての悩みなどの生活上のつらさ(社会的苦痛)について、社会福祉の立場から、情報提供や意思決定支援を行うことで、様々な問題や悩みを解決・調整するお手伝いしております。

痛みなどの身体症状や、不安・落ち込みなどの精神的な苦痛を和らげ、社会的・経済面での悩みを少しでも解消し、自分らしい生活を送れるように、緩和ケアチームは院内だけでなく、院外の関係機関や関係職種とも連携しながら、患者さんご家族をサポートしていきます。



ロボット支援手術、 はじめました。

手術支援ロボット「ダビンチ」によるロボット支援手術が、令和5年1月に当院で初めて行われました。

外科では、胃がんに対する幽門側(ゆうもんそく)胃切除、泌尿器科では前立腺がんに対する前立腺全摘、そして呼吸器外科では肺がんに対して上葉(じょうよう)切除が行われ、いずれも大きなトラブルもなく順調に手術を終えることができました。

ロボット支援手術は、慣れと経験は必要なものの、近年行われてきた鏡視下手術における角度の制限と手振れという欠点が解消され、より安全で、質の高い手術を可能にしてくれるものと確信すると同時に、外科手術が新たなステージに入ったことを感じました。

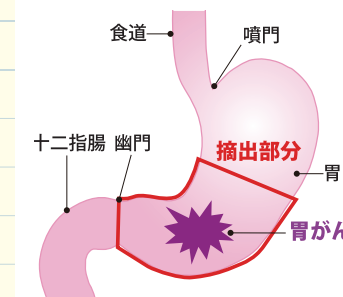
今後は他の疾患を含め、さらに多くの患者さんがロボット支援手術で病気を克服できるよう、そして次の世代の若い外科医にロボット支援手術の技術を引き継いでいけるように、努力していきたいと思えます。



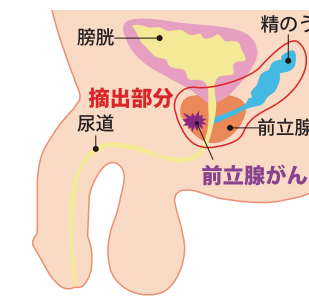
3D映像を見ながらアームを操作します。



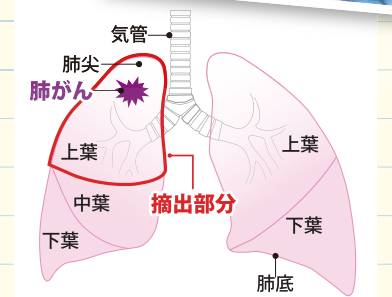
4本のアームが正確に動きます。



幽門側胃切除



前立腺全摘出



肺の上葉切除

地域の医療機関のご紹介

当院は、身近な医療機関と役割分担を図り、地域全体で切れ目のない医療を提供することを目指しています。
こちらでは、当院の登録医療機関(かかりつけ医)をご紹介します。

医療法人 章眞会 熱海医院

〒987-0012
遠田郡美里町素山町18-1
TEL 0229-33-2020
WEBなし
※本院かかりつけ医検索参照



【かかりつけ医検索システム】▶

診療科目

内科・消化器内科

受付時間

8:30~11:30 / 14:00~17:00

	月	火	水	木	金	土	日
午前	○	○	○	○	○	○	-
午後	○	○	○	○	○	-	-

休診日

土曜日午後・日曜日・祝日・年末年始・お盆



院長 熱海智章 先生

地域の皆さんへ

当院は私の祖父が小牛田町(現美里町)に開院した当初は病床も有しておりましたが、私が父親から継承した平成24年からは無床の診療所となりました。診療については内視鏡検査を中心とした消化器疾患を専門としていますが、高血圧症、糖尿病、脂質異常症など、他の疾患についても検査や治療のお手伝いをさせていただいております。高度な検査や治療を要する患者さんや緊急を要する患者さんについては、大崎市民病院をはじめ近隣の医療機関と連携をとらせていただきながら今後も地域の皆さんのお役に立てるよう診療を続けてまいります。

大崎市民病院分院紹介

大崎市民病院 鹿島台分院



〒989-4103
大崎市民病院 鹿島台平渡字東要害20番地
TEL 0229-56-2611
<https://www.h-osaki.jp/kashimadai/>

診療科目

内科・外科・整形外科

受付時間

8:00~11:30 / 13:00~16:00

	月		火		水		木		金	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
内科	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
外科	○	-	○	-	○	-	-	-	-	-
整形外科	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○

地域の皆さんへ

当院は昭和22年の国保直営診療所として発足し、現在も大崎地域の「かかりつけ医」として地域医療に取り組んでいます。また、令和4年8月には「地域包括ケア病床」を40床に拡充し、在宅等に復帰するための看護・リハビリテーションなどを提供しています。急性期治療後に在宅復帰支援が必要な方はもちろん、在宅や施設入所中の方で症状が悪化した場合など、体調不良に関する受診、検査、入院治療も対応可能です。また、睡眠時無呼吸症候群(SAS)の診療・健康診断も行っていますので、お気軽に外来や地域医療連携室にご相談ください。

当院はこれからも、「地域完結型医療」を目指し、地域の医療機関や関係機関との「連携を強化」し、地域に密着した医療を提供できるようスタッフ一同取り組んでいきます。

